

エピソード

園庭で見つけたグミの実を使って、ジュースづくりが始まりました。A児「力を入れて押したら色が出そう」B児「ジュースみたいになるように水を入れてやってみよう」と、めん棒で押しつぶしました。A児「ちょっとずつ色が出てきた」B児「ピンクのジュースになった」と、水に色がついたことを喜んでいました。ジュースの中の浮遊物を持ち上げ、B児「これ何？皮？」①「何だろう」と話していると、A児「それ種じゃないの？固いよ」と、触ることでグミの実の中に種があることを知りました。違う場所で色水をつくって遊んでいたC児が「クワの実も見つけたよ」と、2人に知らせるとA児は「クワの実でもジュースつくってみる、黒っぽい実を取ったらいいってことか」と、C児のつくっていた色水を見てからクワの実を取りに行くと、早速実を潰し始めました。A児「水にジュワって色が広がったよ」と、実から色が出てくる様子をじっと見ると、A児「実だけをザルで取ってジュースにしてみる」と、ザルでこしました。B児もA児の姿を見てグミの実のジュースを同じようにこし始めました。C児「どっちが色濃いか？」と見比べると、少しクワの方が、色が濃いことに気が付きました。B児「もっと実を入れてみる」とさらに実を増やしジュースづくりを楽しんでいました。

子どもの育ちや学び

潰してみよう
(やってみよう)

どんな色になるかな？
(ワクワク、期待)

種だと思うよ
(多分、恐らく)

これ何だろう？
(疑問、不思議)

どうなった？
(興味)

色が変わったよ
(嬉しい)

グミの実 クワの実

- ・普段あまり目にすることがない木の実に出合うことでやってみようという思いが芽生えました。
- ・どのようにするか興味をもちながら変化していく様子を楽しんでいます。

- ・グミを潰すことで出てきた浮遊物(種)への興味が「これは何？」と、疑問に繋がりました。
- ・友達と一緒に硬さや形を触って確かめることで、恐らく種だろうということに気付き、友達の言葉から知ることができました。

実は入れずに
ジュースだけにしたい！
(強い思い)

クワの方が
少しだけピンク！
(見比べからの気づき)

- ・実から色が出る様子をじっと見ながら、水に色がつくのを楽しんでいました。実を入れずにジュースにしたいという強い思いをもって、ザルに色水をこしました。
- ・友達のしていることに目を向け、自分もやってみようと思いました。
- ・2つのジュースを比べることで、色の違いに気付くことができ、繰り返し遊ぶ姿につながりました。

保育者の思い

- ・実を潰すことで色が出ると子ども達は思っていますが、どんな風になると色が出るのかな？どんな色になるのかな？など、実際にやってみることで気付いたり、新たなことを知ったりしてほしいという思いから見守るようにしました。
- ・これは何だろう？という疑問について言ってしまうようになりましたが、一緒に疑問をもつようにしたことで、子ども達が考えられるようになりました。
- ・2つのジュースを子ども達と一緒に見比べ、子ども達が何を感じるのか、何に気付くのか耳を傾けるようにしました。

家庭だったら・・・

子ども達は、遊びや生活の中で「何で？」「これって何？」と、不思議や疑問を感じています。大人がついつい答えを言ってしまうようになりませんが、一緒に「何かな？」と、問い掛けてみてください。子ども達が「ん～」と考え、学びにつながる一歩になると思います。